

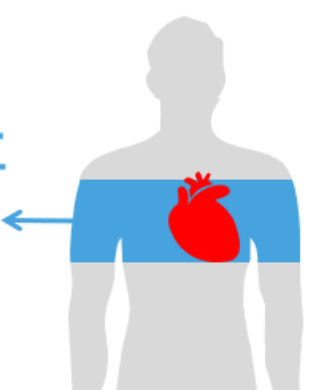
A&N Labo

心臓検査機器の精度管理ツールの開発と普及を目指して

心臓の病気は

日本人の死因の第2位

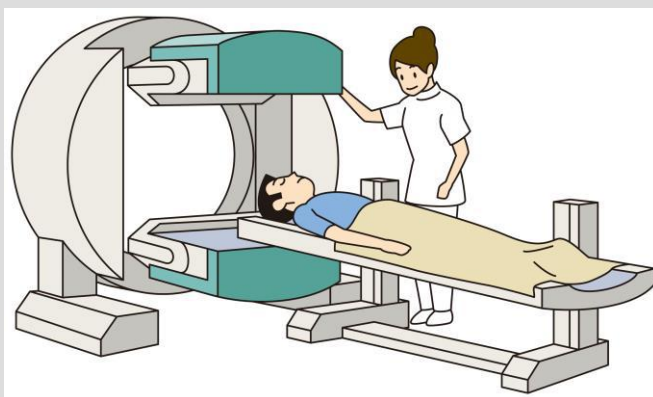
死因第2位
心疾患



2018年厚労省が機能検査を必須化

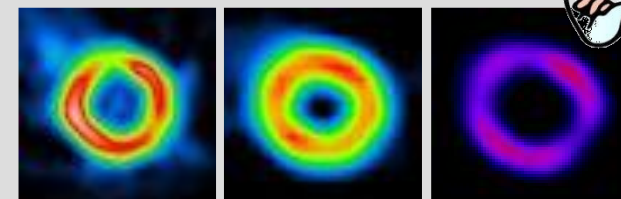
心臓核医学検査

の重要度が高まっている



核医学検査装置

出力画像が
施設によって異なる



A病院 B病院 C病院

標準化が必要

心臓の病気の大きさや重症度を正確に読み取れる画質の担保が課題

A&N Labo

心臓の評価用ファントムを開発



複数の特許を取得または出願中

【特許】

2018-033426：医用画像評価用のファントム

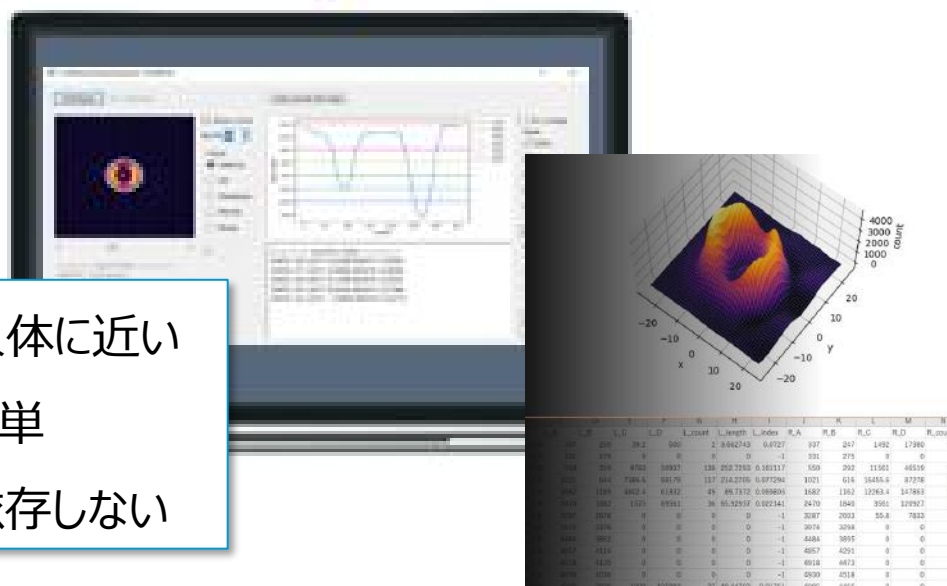
【特許出願中】

P190014HO：フュージョン画像の校正が可能な医用画像評価用ファントム

P190015HO：着脱自在な病変部を有する医用画像評価用ファントム

P190016HO：心臓ファントムの取付構造

- ✓ 構造が人体に近い
- ✓ 扱いが簡単
- ✓ 機器に依存しない



解析ソフトウェアを合わせてパッケージ化

予定価格 1セット150万円

誰もが簡易に実施できる汎用的な画質評価用ツールを提供



画質の標準化



診断医の負担軽減



心疾患の早期発見
医療格差の是正

全国1200の病院施設に導入

病院の他にも...

- 医療機器メーカー
- 製薬会社

世界の医療機関・メーカーに展開

北海道から世界へ 心臓核医学画像の標準化を目指す

A&N Labo



北海道科学大学

代表

菊池 明泰

Email: kikuchi-a@hus.ac.jp

副代表

和田 直史

Email: wada-n@hus.ac.jp